



きずな

第13回 山崎七郎杯 兼全道少年U-10 サッカー少年団大会 札幌地区予選

AGGRE-A、篠路、LABORO

西白石、SSS コラソン、

コンサドーレB、コンサドーレA

LIV. FC、FC コラージュ

全道大会進出おめでとう！！

札幌地区代表を目指して、各会場でもとても熱い試合が繰り広げられ、上記9チームが全道大会に進出することになりました。札幌の代表として全道大会でも活躍してほしいですね。

6月25日(日) 盤渓サッカー場(A)		
ベアフット北海道B	AGGRE-A	
0	0-1 0-1	2

先制点は前半2分、AGGRE-Aの9番競り合いを押し込み、幸先の良い形でスタートを切った。前半はAGGRE-Aが追加点を狙うが、その後ゴールは生まれなかった。後半1分、AGGRE-Aの8番ドリブルで抜けてゴール。その後もAGGRE-Aは追加点を狙うがベアフット北海道Bもゴールを許さず、試合終了。今回の試合を通じて、両チームがまた次に繋げていってほしい。

6月25日(日) 盤渓サッカー場(B)		
前田中央	LAVORO	
2	1-2 1-2	4

LAVORO11番のドリブルが冴え、何度も前田中央のゴール前までボールを運ぶ。しかし悪天候の為、グラウンドがスリッピーになっておりコントロールが上手くできない。前半3分相手ディフェンダーのこぼれ球をゴール前でLAVORO10番が押し込み先制。前半7分更に追加点が決まり、このまま一気にLAVOROの流れになりそうではあったが、前半9分前田中央4番が中盤から抜け出しそのままゴール。1点を返して前半終了。後半、LAVOROのDF陣も安定しており、前田中央をフリーにさせることはなかった。後半、前田中央少ないチャンスを活かしてゴールを決める。最後まで諦めずに戦った前田中央であったが、LAVOROが勝利。

6月25日(日) 盤渓サッカー場(A)		
篠路	Liberta.Salvia	
3	3-1 0-0	1

前半から立て続けに篠路がLiberta.Salviaのゴールに襲いかかる。1点目は開始早々ミドルシュートが決まる。その後も篠路7番がコーナーキックを合わせて追加点を挙げていく。前半終了間際、Liberta.Salviaの15番もクロスからゴール。後半はお互いに得点は動かず試合終了となった。

6月25日(日) 盤溪サッカー場(B)		
FC.TIPS	西白石	
0	0-0 0-0 延長0-0 PK2-3	0
PK2		PK3

一進一退の展開が続く。そんな中、FC.TIPSが左右にボールちらし、ドリブルで仕掛けてリズムを作る。西白石も中盤で奪えば前線に素早くボールを繋ぎチャンスを作る。DF陣も落ち着いてルーズボールをさばき大きなピンチを作らない。両チームミドルシュートも枠を捉えず、前半終了。後半開始直後、西白石のコーナーキックもFC.TIPS必死のディフェンスでギリギリ防ぐ。両チーム、球際に素早く寄せ、よく走り決定機を作らせないバランスの良いチームだったが、最後はPK戦でFC.TIPSが枠を外し、西白石の勝利で終わった。

6月25日(日) コンサドーレG(A)		
SSS コラソン	宮の森	
4	1-0 3-0	0

SSS コラソンの11番が躍動した。中央バイタルエリアからのシュートはゴールキーパーの届かないところへ吸い込まれた。右サイドからマイナスのパスを受けてシュート、相手のクリアボールをトラップしてシュートなど、バイタルエリアからのミドルシュートが4度突き刺さり4-0でSSS コラソンが勝利した。

6月25日(日) コンサドーレG(B)		
コンサドーレA	FC DENOVA	
6	2-0 4-0	0

激しい雨の中、しっかりと繋ぐコンサドーレAが先制する。何度もピンチを凌ぐFC DENOVAだが落ちることなく攻め続け追加点を取り危なげなく勝利。FC DENOVAも最後まで諦めず走り切った。

6月25日(日) コンサドーレG(A)		
L-WAVE	コンサドーレB	
0	0-2 0-4	6

常にコンサドーレBがボールを持つと得点を感じさせる攻撃が多かった。中央バイタルエリアからの強烈なシュートや角度の無い左サイドからシュートもゴールに吸い込まれた。L-WAVEも守備に追われる時間は長かったが積極的に攻撃を仕掛けた。

6月25日(日) コンサドーレG(B)		
札幌常盤	LIV.FC	
0	0-0 0-0 延長0-1	1

前後半 LIV.FC が優勢に進めるが札幌常盤のゴールキーパーがファインセーブで防ぐ。体を張った守備でゴールを守っていたが、延長前半で地を這うようなボレーシュートが決まり、LIV.FCが勝利した。

6月25日(日) コンサドーレG(A)		
FC コラージュ	菊水	
3	2-0 1-2	2

前半4分右コーナーキックから15番の選手が体で押し込みFC コラージュが先制点を挙げる。後半開始直後、菊水がフリーキックを直接決め、追い上げを見せるもすぐにFC コラージュもゴールを決める。互いにゴールを奪い合い3-2で幕を閉じた。



決勝戦の日は、札幌を強風と大雨が襲いました。各試合とも選手や応援団はもちろんですが、会場担当チーム、審判団、みんなが力を合わせて大会を運営しました。この文章も大雨で紙もペンも役に立たない中、担当東区のお力でできあがったものです。大会運営に関わって下さった皆様のご尽力に感謝します。